



清流くん

## 洪水への安全度を向上させる 工事を実施します

千代川の河川整備は、戦後最大（昭和54年10月出水）規模の洪水を安全に流すことを当面の目標として事業を行っています。千代川河口から約3km～4kmの区間は、秋里潮止め堰や八千代橋があり堤防の背後には鳥取市街地をかかえる地域です。しかし、洪水時は堰や橋梁の影響で河川水位が高くなってしまい堤防の決壊を招く恐れがあります。

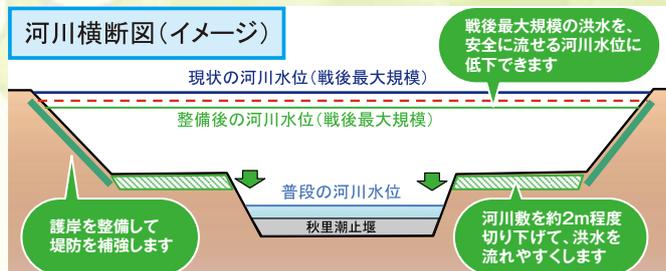
そこで、洪水を安全に流すために断面を広げる工事を実施します。今回の工事は、河川敷を約2m程度切り下げるのが主な内容です。工事中は河川敷きの利用ができなくなります。ご迷惑をおかけしますが、事業へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

河川敷掘削（左岸）

河川敷掘削（右岸）

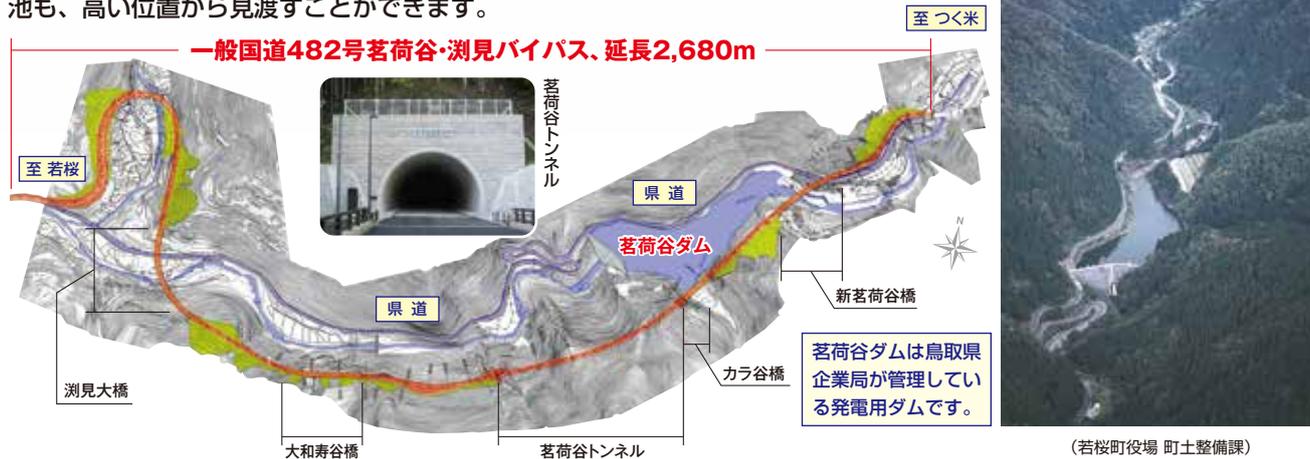


河川横断図（イメージ）



## 一般国道482号茗荷谷・瀧見バイパス開通!

鳥取県が若桜町茗荷谷～瀧見地内で整備してきた「茗荷谷・瀧見バイパス」が平成24年11月24日に開通しました。これまで幅員が狭く、急勾配・急カーブが連続していた区間に、つく米川や茗荷谷ダムを横断するバイパス道路が完成し、通行がしやすくなることで若桜町つく米地区にある「わかさ氷ノ山自然ふれあいの里」にある観光施設や氷ノ山スキー場への利便性が向上するとともに、茗荷谷ダム貯水池も、高い位置から見渡すことができます。



(若桜町役場 町土整備課)

# 殿ダムの貯水量が回復してきました!

袋川流域では、平成24年7月13日から約1.5ヶ月間に渡って大規模な降雨がなかったため、殿ダムでは、渇水を防ぐため常にダム湖(因幡万葉湖)の水を下流に放流し続けてきました。その結果、袋川の渇水を防ぐことが出来ましたが、貯水率は9月17日には39.5%にまで落ち込みました。しかし、その後は降雨に恵まれ、11月1日現在87.5%まで回復しました。今後も引き続き袋川の水量に注意しながら、ダム湖の水の有効利用に努め河川環境の保全を図ってまいります。

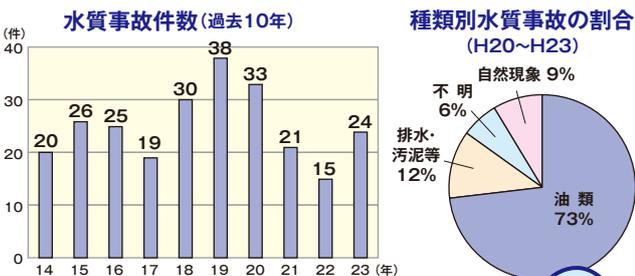


## きれいな川は私たちの貴重な財産です! 「水質事故現地対策訓練」実施



10月25日に実施した現地対策訓練の様子

河川に油が流出した場合を想定して、「水質事故現地対策訓練」を実施しました。ひとたび水質事故が発生すると、私たちの生活及び環境に大きな影響を与えかねません。被害を最小限に抑えるためには、現地での迅速かつ確実な対応は大変重要となります。そのため、オイルフェンス等を設置し油類の拡散を防止し、回収する訓練を実施しました。日頃から、油類の取扱いには注意を払い、水質事故を未然に防ぎましょう。



油類が圧倒的に多いだね!  
灯油のホームタンクの点検や、給油中は  
その場を離れないようにしましょう!

## 「年超過確率」って?

河川改修を計画するにあたり、どれくらいの規模の洪水を安全に流すようにするかを決定します。その規模を「100年に1回の確率で降る雨」という表現をする場合がありますが、例えば「100本のうち1本に印のあるクジを毎年1本ずつ引いていく」というイメージでとらえられる場合があります。

正しくは、「毎年、1/100の確率で降る雨」で、例えるなら百面のサイコロを毎年1回振り、1が出たら大雨になるようなイメージです。100回振っても1が出ないこともあれば、2回続けて出ることもありますので、常に警戒が必要です。



## かっぱ通信

事務局  
だより

これからの時期、家庭からの水質事故が多発します。前年の灯油を排水溝に流さないようにしましょう。また、設置している灯油のホームタンクの劣化から、灯油が洩れ出す事故も発生しています。定期的にホームタンクの点検をお願いします。

(発行・編集)  
〒680-0803 鳥取市田園町4丁目400番地  
千代川流域圏会議事務局  
国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 河川管理課  
TEL0857-22-8435 FAX0857-29-1859